

教文演劇フェスティバル公式WEBサイト



1985年の演フェス始まりから現在に至るまで、変遷やアーカイブなどを公開。
随時パワーアップしていきますので、要チェック！

写真：折田写真



Twitter公式アカウント
@en_fes 絶賛つぶやき中



Facebook

「教文演フェス2022」情報更新中



【感染症拡大防止のためにご協力をお願いいたします】

- ご来館前に体調のチェックをお願いします。
- ご来館の際のマスクの着用およびご入場時の検温、手指の消毒にご協力ください。
- ご入場時、お客様ご自身にてチケットの半券をお切りください。
- チケットの半券裏面にお客様連絡先をご記入ください。保健所などへ提出する場合がございますので、ご了承ください。
- できるだけ会話はお控えいただき、拍手のみでのご声援をお願いいたします。
- 出演者へのプレゼントや差し入れ、ご面会はお控えください。



その他詳細はこちらから

【会 場】

札幌市教育文化会館

札幌市中央区北1条西13丁目

大規模改修工事に伴い、2023年1月1日～
2024年9月30日まで全館休館いたします

【交通機関】

◎地下鉄／東西線「西11丁目」駅(1番出口)から徒歩5分

◎JRバス・中央バス／「北1条西12丁目」バス停から徒歩1分

◎市電／「西15丁目」から徒歩10分

※お客様用駐車場はございません。
車でお越しの際は近隣の有料駐車場をご利用ください

【お問 合 せ】

札幌市教育文化会館 事業課

TEL 011-271-5822 FAX 011-271-1916 (9:00～17:00 休館日除く)

船橋演劇祭 四ッ巴戦

短編演劇祭-四ッ巴戦-

【出演団体】○バスプア(札幌) ○イチニノ(茨城) ○空宙空地(名古屋) ○きまぐれポニーテール(札幌)

テーマ「エウ」

2022.9.18 [日] 14:00開演(13:00開場) 【会場】札幌市教育文化会館 大ホール

主催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、教文演劇フェスティバル事務局 後援：札幌市、札幌市教育委員会 協力：日本劇作家協会北海道支部



刻まれる生涯の記憶

教文演劇フェスティバル 2022

短編演劇祭 – 四ツ巴戦 – 9月18日[日] 14:00開演（13:00開場）

上演時間は20分・勝負の行方は観客＆審査員投票。

テーマ「ユウ」

道内外で活躍する劇団やユニットが今年のテーマ「ユウ」に関連した20分の短編作品を上演。観客投票＋審査員投票で優勝を決めます。テーマの解釈は自由で、各劇団のオリジナリティ溢れる作品が見所です。道内外から集結した4つの劇団による演劇バトル。勝負の行方はいかに！？

教文短編演劇祭2022の流れ

観る

観客・ゲスト審査員による投票 + ゲスト審査員による講評



優勝劇団決定！

優勝特典

- 優勝賞金10万円
- 齊藤委員長の手作りチャンピオンベルト

短編演劇祭2022 出演劇団

台本審査を通過した4団体

パスプア

[札幌]

幽と現のあいだ

作・演出：小佐部 明広



藤本幽は眠れない日が続いていたが、身体はまったく疲れていない。医者に行ってみると心臓が止まっていることが分かる。脳の活動も止まっている。なぜ動いたり喋ったりしているのかはわからない。幽は眠らずに働いた。あの世と（幽）とこの世（現）の間に生きる人間の労働ファンタジー。

空宙空地

[名古屋]

グ、リ、コ

作・演出：関戸 哲也



写真：折田写真

突然の戦争は穏やかな日常を一瞬で奪い去った。離ればなれになった幼馴染の男をやっとの思いで探しあてた女だが…「明日の私に降ってくるかもしれない不穏な未来」と「失って気づくささやかな幸せ」。現代社会が世界的に抱える問題を、リアルに身近に描いた、せつなく愛おしいジェットコースターヒューマンファンタジー。

イチニノ

[茨城]

第3回
全日本もう帰りたい選手権(終)

作・演出：前島 宏一郎



2015年の第1回、2016年の第2回に続き、ついに開催される第3回全日本もう帰りたい選手権。「帰りたい」も多様性の時代。リモートワークから会社へ、会社から自宅へ、現在からあの頃へ、さまざまな「帰りたい」思いを持つ者たちが、あらゆる困難と同調圧力を超えて、自由を掴むため、時間も超えて走り、目指すは最高のUターン！目指せ感動の最終回！

きまぐれポニーテール

[札幌]

あたしとあなた、とお前と貴様

作：里美 ユリヲ(絶対鈍器)
演出：畠山由貴(劇団パーソンズ)



走り続ける一人の男。その先に一目惚れしたあなたがいるから。佇み続ける一人の男。ここはアナタとの思いでの所だから。座り語る一人の男。ここなら貴女が見えるから。三人は、彼女との思い出を語りつつ、過去と今を生きる。一人の女性を巡る。巡らない男たちの話。

2019年以来、3年ぶりの開催!! 新型コロナウイルス感染症拡大によって大きく変わった世界を演劇のチカラで盛り上げろ!! 四神と共に勝つのは誰だ?！

チケット情報

※未就学児入場不可。車椅子をご利用の方は前日までに教文プレイガイドまでご連絡ください

前売 2,000円 (当日 2,500円)

※教文ホールメイトは500円引き

ペアチケット 3,000円

※出場劇団、教文プレイガイドのみ取扱い

高校生以下 500円

※ペアチケット・高校生以下は前売りのみ

※教文プレイガイドのみ取扱い

[チケット取扱い]

- 教文プレイガイド：011-271-3355
- 札幌市民交流プラザチケットセンター(札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ)
- 道新プレイガイド：0570-00-3871(札幌市中央区大通西3丁目 道新本社1階)
- ローソンチケット：Lコード 11982

司会

のと☆えれき

札幌の劇団yhsに所属する俳優、能登英輔と小林エレキによるユニット。対照的な個性と確かな実力を武器に2018年より二人芝居をはじめ。2021年には「私の名前は、山田タロス」で札幌演劇シーズン2021-夏に参加。今年の7月も新作「葉桜とセレナーデ」を上演。積極的に活動を続けている。

YouTube



@NotoEreki



短編演劇祭2022 ゲスト審査員

鴻上 尚史

KOKAMI Shoji

作家・演出家

作家・演出家。1981年に劇団「第三舞台」を結成し、以降、作・演出を多数手がける。これまで紀伊國屋演劇賞、岸田國士戯曲賞、読売文学賞など受賞。舞台公演の他には、エッセイスト、小説家、テレビ番組司会、ラジオ・パーソナリティ、映画監督など幅広く活動。また、俳優育成のためのワークショップや講義も精力的に行うほか、表現、演技、演出などに関する書籍を多数発表している。



©TOWA

上田 慎一郎

UEDA Shinichiro

映画監督

1984年、滋賀県出身。中学生の頃から自主映画を撮りはじめ、高校卒業後も独学で映画を学ぶ。2009年、映画製作団体を結成。『お米とおっぱい。』『恋する小説家』『テイク8』など10本以上を監督し、国内外の映画祭で20のグランプリを含む46冠を獲得。2018年、初の劇場用長編『カメラを止めるな!』が2館から350館へ拡大する異例の大ヒットを記録。三人共同監督作の『イソップの思うツボ』が2019年8月に公開、そして劇場用長編第二弾となる『スペシャルアクターズ』が同年10月に公開。2019年1月、映画の企画・制作を行う株式会社PANPOCOPINA(パンポコピーナ)を設立。2020年5月、コロナ禍を受け、監督・スタッフ・キャストが対面せず“完全リモート”で制作する作品『カメラを止めるな!リモート大作戦!』をYouTubeにて無料公開。2021年『100日間生きたワニ』『DIVOC-12』、2022年『ポプラン』が劇場公開。



きたろう

KITARO

俳優・タレント

1948年8月25日生まれ、千葉県出身。1979年大竹まこと、斉木しげるとラジカルで知的なコントユニット“シティボーイズ”を結成。1981年日本テレビ「お笑いスター誕生」でデビュー(10週勝ち抜きグランプリ)。近年の出演作に映画「きまじめ楽隊のぼんやり戦争」監督：池田暁(2021)／「ロマンスドール」監督：タナダユキ(2020年)／「体操しようよ」監督：菊池健雄(2018)／テレビドラマ「少年寅次郎」NHK(2019)／舞台 ほりぶん「かたとき」作・演出鎌田順也(ナカゴー)など。2014年からBS・TBS「夕焼け酒場」に出演中。

